

## 【0006・川俣修壽・サリドマイド事件関係資料】

### 資料群概要（フォンドレベルの情報）

作成主体：川俣修壽 かわまたしゅうじ

資料群名称：サリドマイド関連資料

年代：1952-2009（全体）・1968-1974（主要）

要約：

川俣修壽・サリドマイド事件関係資料は、サリドマイド事件が和解で解決した後、川俣修壽が自身の研究のために収集した資料群である。サリドマイド事件とは、サリドマイドを含有する睡眠薬・鎮静剤を妊婦が服用したことで、胎児が四肢、内臓、耳などの成長に影響を与えた薬害で、これを契機に表面化した様々な問題の総称を指す。日本では、1960年代初頭から被害者の一部が原告となり、国と発売元を提訴し、1974年に和解が成立した。この資料は、主に書簡、メモ、行政文書コピー、機関紙、雑誌、雑誌記事コピー、新聞切抜、写真、原告団会議を記録した録音テープ等から構成され、印刷物やコピーが多く含まれる。内容としては、全国サリドマイド訴訟統一原告団、サリドマイド訴訟弁護団、及びその支援団体の活動を伝える記録が大半を占める。

総量：15箱（165ファイル）

受入番号：0006

言語：日本語、ドイツ語（少数）

### 資料群の管理と利用に関する情報

出所：

この資料は、川俣修壽より2010年5月、同年7月、11月と3回にわたって、本資料公開室に寄贈されたものである。1971年から川俣は「サリドマイド裁判を支援する市民の会」に所属し原告団や被害者を支援する運動に関わるようになる。その運動を通じて手元に資料が自然と蓄積されていった。事件が和解で終結すると、川俣は自身の心覚えとするため、研究を開始する。彼の研究を聞きつけた運動の仲間たちから資料の提供を受けていくうちに、サリドマイド事件の全記録のデータベース作成を目指すようになる。その活動の中で、新聞各社の縮刷版から事件に関連する記事、被害者団体、原告団、支援団体などの記録、和解交渉や原告団会議の録音テープを収集するに至る。さらには、原告団事務局員であった名倉妙子から、自身が原告団・弁護団会議、支援者の議論を記録したノートと日記を提供され、それらをすべてコピーする（資料群0034に存在する）。また、川俣は厚生労働省に情報公開法に基づき「サリドマイド

訴訟関係綴」の公開を請求し、そのコピーを入手した。資料の多くはファイルされるか、もしくは袋に詰められていたが、川俣が入手した時点でそのようにまとめられていた記録もあれば、本人が整理したものもある。2010年5月に、これら一連の資料は川俣本人が梱包し当室に寄贈された。

関連する資料群：受入番号 0034、川俣修壽・サリドマイド事件関係資料、当室所蔵

利用の形態：原本利用

整理方法についての情報：

資料の寄贈を受けた後、詳細なリストがスタッフによって作成された。その後 2013年に環境アーカイブズ RA の橋本陽により、リストの修正、資料編成、目録の作成が行われた。最初の整理の際に、元来ファイリング・封筒詰めをされず単独で存在していた資料は、分類せずに新たに封筒に収納された。これらの資料は、新たに分類するという処置を施していない。シリーズ別の資料リストには「混在資料」という小項目を設け、1点ずつ記入している。

引用する場合の表記方法：

川俣修壽・サリドマイド事件関係資料、受入番号 0006、各ファイル番号、法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ

利用制限：

サリドマイド被害者の個人情報、特に身体に関する情報を記載した資料については閲覧を禁止する。

作成者の権利について：

資料全体の所有権は法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズに属する。また、著作権の関係上、利用が制限される資料、例えば私信等が存在する。これらの請求については職員に問い合わせていただきたい。

**作成主体についての情報：**

川俣修壽がサリドマイド事件に関与した時期に限定して記述する。川俣は 1971年3月下旬より「サリドマイド裁判を支援する市民の会」（以下、「市民の会」）設立準備会に加わり支援活動を開始する。「市民の会」において、川俣はポスター・バッジ・カンパ用の写真パネルの製作を担当した。またサリドマイド裁判を支援していた「子供たちの未来をひらく父母の会」発行の機関紙への寄稿、原告団事務局員であった名倉妙子の仕事の手伝い、被害者である子供の両親、特に母親からの話を聞くこと、サッカー大会の準備などその子供たちとの交流、カンパ活動、国会議員への事情説明、サリドマイドと障害の関連を否定した科学者である大阪大学の杉山博（当時の在籍）の追及、厚生省（当時）への抗議などを行った。1974年の和解後は、サリドマイド問題の研究のために資料を収集し、データベースの作成を志すようになる。収集については、運動関係者から送られたものを取りまとめ、さらに自身も国会図書館に行き資料を請求する、厚生労

働省に情報公開を申請し資料を入手する等、活発に行動する。資料集を刊行しようとするも、出版事情から断念し、その代わりに『サリドマイド事件全史』を執筆し、2010年に緑風出版より出版される。現在もデータベースの構築のために作業を継続している。

#### 資料群の内容：

シリーズ1は、「原告団・弁護団、1960-1981」であり、全国サリドマイド訴訟統一原告団・サリドマイド訴訟弁護団の諸活動から作成された資料から構成される。原告団作成・宛の書簡、原告団事務局員であった名倉妙子の書簡、原告団・被害者名簿、支援活動の中作成されたパンフレット、弁護団作成の報告書が存在する。コピーも多い。原告団事務局は、支援団体の仕事も兼ねたため、それらに関する活動の記録もここに含まれる。特に名倉妙子は、原告団事務局員として働いていたが、弁護団・支援団体の活動に密接に関わったため、その記録にはこれら三者に関する内容が記載されている。

シリーズ2は、「支援者・支援団体、1964-1982」であり、支援団体が自費出版で発行した機関紙、発送した文書の控え、被害児童との交流に使われたチラシなどの配布資料、研究者による被害調査・アンケート、サリドマイド関係の海外記事の翻訳原稿などから構成される。機関紙、発送文書、児童などの交流に使われた資料は「子供たちの未来を開く会」をはじめとする支援活動の中で作成された記録であり、キャンプ活動で使用された歌詞なども存在する。なお原告団事務局員であった名倉妙子は、支援活動も行っており彼女の記録も一部ここに区分される。他には、日本女子大学の研究者であった一番ヶ瀬康子の被害調査、海外事情の調査や原告の裁判資料のために子供たちの未来をひらく父母の会が中心になって作成した海外サリドマイド関連記事の翻訳など、学術方面からの支援活動のために作成された文書もここに含まれる。

シリーズ3は、「裁判・和解、1952-1974」であり、裁判に提出された原告・被告双方の書証、和解交渉に関する文書とその全体会議を録音したカセットテープ、和解の調印式の様子を写した写真などから構成される。また、原告提出の甲号書証、被告側では大日本製薬提出の乙号書証、セイセイ薬品工業提出の丙号書証、国提出の丁号書証など、被害者である原告と加害者である被告が対峙した裁判・和解のために作成された記録が存在する。

シリーズ4は、「行政、1963-1967、2006-2007」である。厚生省（当時）の「サリドマイド訴訟関係綴り第四号」、川俣修壽による厚生労働省への情報公開請求にまつわる資料から構成される。

シリーズ5は、「サリドマイド各種資料、1968-1976」であり、サリドマイド事件に係る雑誌や新聞の記事とそのコピー、原告団の会議で使われたであろうと推察される模造紙、サリドマイド事件に何らかの形で関わったと考えられる書簡、サリドマイド事件について授業を受けた厚木市立草柳小学校の児童による感想文、名簿、年表から構成される。このシリーズには、サリドマイド事件に何かしらの形で関与したが、その出所

が不明確である資料が含まれる。

シリーズ 6 は、「公害・薬害問題一般、1971-2009」であり、主に自費出版の機関紙から構成される。このシリーズは、サリドマイド事件とは異なる薬害被害に対する運動を行っていた団体の資料、一般的に薬害を論じた記録などが存在する。クロロキン問題、スモン訴訟、森永ヒ素ミルク問題について運動を行っていた団体が主な作成主体であるが、彼らの残した記録の中には、一部サリドマイド事件を扱った記述が見受けられる。

シリーズ 7 は、「書籍・雑誌、1964-1976、1997」であり、一般に刊行された書籍と雑誌から構成される。全国サリドマイド訴訟統一原告団とサリドマイド訴訟弁護団が著者である『サリドマイド裁判』や裁判を扱った記事が掲載される『ジュリスト』などがこのシリーズには存在する。

シリーズ 8 は、「川俣修壽個人活動、1969-1983、1991」であり、文献一覧表、記事切抜などから構成される。川俣修壽の個人的な活動から作成されたと想定し得る資料をここに区分した。文献一覧表は薬害に関する資料を川俣が検索した結果の用紙である。記事スクラップには川俣がペンネームであるソフィアのキリストの名によって子供たちを守る父母の会の機関紙である「さーちらいと」に寄せた原稿がある。その他、サリドマイド事件に関与しない個人的な活動の記録がここに含まれる。

#### 編成：

以下、8 つのシリーズに分類した。シリーズによっては、混在資料という項目が存在する。これに該当する資料は、元々はファイリング・封筒詰めをされず単独で存在していた資料であり、他とは異なり 1 点ずつのアイテムリストとなっている。なお、写真についてはそのために単独のシリーズを作成することはしなかった。

シリーズ 1：原告団・弁護団、1960-1981

シリーズ 2：支援者・支援団体、1964-1982

シリーズ 3：裁判・和解、1952-1974

シリーズ 4：行政、1963-1967、2006-2007

シリーズ 5：サリドマイド各種資料、1968-1976

シリーズ 6：公害・薬害問題一般、1971-2009

シリーズ 7：書籍・雑誌、1964-1976、1997

シリーズ 8：川俣修壽個人活動、1969-1983、1991

## シリーズ記述と資料リスト

### シリーズ1：原告団・弁護団、1960-1981

ファイル番号	ファイル名	ファイル年代幅	内容・備考
96-97	発翰[原告団事務]	1967-1969、他不明	名倉妙子による手紙の控えか(2ファイル)
98-100	手紙[原告団・名倉妙子]	1971-1976、他不明	名倉妙子宛の手紙、レントツ診断書コピーなど(3ファイル)
108	全国サリド原告団あて書簡 協力者来簡	1972-74	
102	マルピーボイコット関係	1971、1973[推定]	マルピー薬品会社ボイコット
103-104	[原告団・支援団体活動文書]	1968-1972、他不明	訴訟、支援活動関係(2ファイル)
111	名倉妙子 私	1972-1974	手紙下書き・メモ・原告団活動記録ノート[名倉妙子]あり
113	[名倉妙子関係]	1971-1972、1974-1975	レントツと親との対談記録[名倉妙子]、名倉妙子宛書簡など
119	名倉妙子	1971	名倉妙子勤務時間表
120	[原告団・支援団体諸記録]	1965-1975、1981	原告団・父母の会・いしずえなどの記録
123	受信簿、発信簿[全国サリド マイド訴訟統一原告団]	1966-1974	
124	[原告団関係]	1971.3、1973-1974、 他不明	サリドマイド被害児童・家族名簿、機関紙『薬害共闘』など
125	サリドマイド関係各種資料	1972.8-9、1974- 1975、他不明	被害者名簿、協力者名簿、合宿・キャンプ関係
128	医学原論、サリドマイド問題	1971-1972[推定]	原告団事務局発翰の下書き、検診、被害実態調査など
130	全国サリドマイド統一原告団 事務局名簿	不明	
131	原告弁護団文書	1968-1970、他不明	青い鳥マッチ、訴訟運動など
132	原告団弁護団文書	1970-1973、1975、他 不明	全国弁護団連絡会議、ヨーロッパ調査、レントツ博士関係など
133	原告団文書その一	1967-1974	訴訟、ヨーロッパ事情の報告など
134	原告弁護団その二	1968-1973、他不明	訴訟関係
135	原告弁護団その三	1960.12、1965-1968、 1970-1973、他不明	訴訟関係、ラルフネーダーなど
142	[『サリドマイド裁判』刊行 関係]	不明	原告団と弁護団のやりとり
146	飯田証言準備	1971.2[推定]	弁護士 西田公一法律事務所作成
147	サリドマイド事件 和解交渉 速記録		

シリーズ 2 : 支援者・支援団体、1964-1982

ファイル番号	ファイル名	ファイル年代幅	内容・備考
3	サリドマイド事件 その問題点をめぐって	1969. 2	兵庫県サリドマイド被害児を守る会資料
4	月刊サリドマイド [本誌及びこども版]、くすり地獄	1971. 4-1975. 4	機関紙『サリドマイド』2-38号、『くすり地獄』1-27号を編綴。
6	未来をひらく No, 1	1973-1977	「子供たちの未来をひらく父母の会」機関紙 1-12号
7	未来をひらく No, 2	1977-1980	「子供たちの未来をひらく父母の会」機関紙 13-22号
8	未来をひらく No, 3	1981-1984	「子供たちの未来をひらく父母の会」機関紙 23-29号
68	サリドマイドに関する調査報告書	1966-1973、他不明	被害者児童・家族の調査
105	日本女子大学アンケート 一番ヶ瀬調査	1972	児童の日常生活と成長に関する調査
106	日女大アンケート資料 一番ヶ瀬調査関係	1972. 6、他不明	障害についてのアンケート調査
71-72	諸外国の動き	1973. 1-2、他不明	海外サリドマイド被害記事の翻訳 (2 ファイル)
107	サリドマイドに関する文書、但、市民の会及び原告団父母の会以外のもの リーダー会含む	1971-1973、1976	各支援組織、運動団体の機関紙
118	発翰[子供たちの未来をひらく父母の会]	1968-1970、1975、他不明	子供たちの未来をひらく父母の会の活動報告、回答など
2	うた	1972、他不明	キャンプ活動の一環か
101	[キャンプの歌]	1969、1973、他不明	
109	キャンプ関係	1971-1975	プライバシー
110	父母の会資料	1971-1975	キャンプ活動、心身障害者に関する報告書・雑誌
112	未来の会研究報告	1966、1973-1974	子供たちの未来をひらく父母の会資料
116	子供たちの作文[守る会]	1979	子供たちの未来をひらく父母の会資料
149	子供たちの未来をひらく父母の会保存資料目録	不明	昭和 38 年度～昭和 47 年度の資料年表
150	子供たちの未来をひらく父母の会保存資料目録新聞編	1991、他不明	
126	いしずえ関連資料	1973-1976	財団法人いしずえ関連
	混在資料		

63	サリドマイド奇形児及び各種先天性異常児に関する資料	1966	子供たちの未来をひらく父母の会資料、ファイル 63 内にあり
63	サリドマイド禍家庭の実態調査報告	1966	子供たちの未来をひらく父母の会資料、ファイル 63 内にあり
63	[守る会活動の歴史]	不明	ファイル 63 内にあり
63	サリドマイド訴訟に関心ある方へ会員へのお誘い！！	不明	ファイル 63 内にあり
63	The Lady Hoare Thalidomide Appeal 事業経過及会計報告	1964	翻訳、ファイル 63 内にあり
63	[ドイツ「障害児救済事業団体」の約款]	不明	翻訳、ファイル 63 内にあり
114	キャンプのうた	不明	名倉妙子氏物か、ファイル 114 内にあり
114	両親の集い 第 227 号	1975	全国重症心身障害児（者）を守る会、ファイル 114 内にあり
127	入学年度による地区別数、児童名簿等	不明	子供たちの未来をひらく父母の会資料、ファイル 127 内にあり
127	父母の会活動路線について	1967. 12. 23	子供たちの未来をひらく父母の会資料、ファイル 127 内にあり
157	会員への手紙	1982. 2. 11	子供たちの未来をひらく父母の会資料、ファイル 157 内にあり
157	サリドマイド等類似障害児に対する国の 47 年度一般施策の概要	1982. 1. 22	子供たちの未来をひらく父母の会資料、ファイル 157 内にあり
157	子供たちの未来をひらく父母の会の理事会の議事録	不明	子供たちの未来をひらく父母の会資料、ファイル 157 内にあり
157	子供たちの未来をひらく父母の会の理事会の議事録 その他について	不明	子供たちの未来をひらく父母の会資料、ファイル 157 内にあり
157	サリドマイド裁判支援 全国キャラバン計画第一弾！東京大阪	1971. 9	サリドマイド裁判を支援する市民の会資料、ファイル 157 内にあり

### シリーズ 3 : 裁判・和解、1952-1974

ファイル番号	ファイル名	ファイル年代幅	内容・備考
64-67	アーヘン地裁起訴状 甲 1 3 8 号証の 1 Anklage No.1-4	1967	ドイツ語 (4 ファイル)
85	西ドイツサリドマイド刑事事件裁判打切決定書	不明	アーヘン裁判決定書のコピー、ドイツ語、裁判提出資料か
136	サリドマイド事件 東京地裁関係証拠 No. 1 ~ 1 0 号証	1962-1963、1965、他不明	原告提出書類
137	サリドマイド事件 東京地裁関係証拠 No. 1 1 ~ 3 0 号証	1952-1953、1959-1960、1962-1965、他不明	原告提出書類
138	サリドマイド事件 東京地裁関係証拠 No. 3 1 ~ 7 0 号証	1955、1958、1961-1967、1969-1970、1972、他不明	原告提出書類
139	サリドマイド事件 東京地裁関係証拠 No. 7 0 ~ 1 3 7 号証	1961-1964、1966-1968、1971、1973、他不明	原告提出書類

140	被告号証、準備書面の下書き	1961-1962、他不明	
141	サリドマイド事件東京地裁関係証拠一覧表	1968.7、他不明	
143	サリドマイド事件 東京地裁関係証拠 但号証不明	1963、1965、1968-1972、1974、他不明	
144	証人尋問事項書 原告 被告	不明	
145	東京地裁要約書	1968[推定]	
148	和解関係 68 回口頭弁論	1974.10、他不明	
162	診断書、訴状	1973	診断書、裁判証人目録など
164	写真 [第 1 回和解交渉、旅館宿泊、レント博士・香港苑、あさま山荘 キャンプ、箱根、1971 年 6 月～1973 年 12 月]	1971-1973[推定]	
165	写真アルバム	不明	和解時の写真
166	カセットテープ	1972	裁判・和解交渉の録音

#### シリーズ 4：行政、1963-1967、2006-2007

ファイル番号	ファイル名	ファイル年代幅	内容・備考
93-95	TH[サリドマイド]情報公開請求関係	1963-1967、2006-2007	川俣修壽と厚生労働省の交渉 (3 ファイル)
158-161	サリドマイド訴訟関係綴り第四号	1974.6-10	厚生省資料 (4 ファイル)

#### シリーズ 5：サリドマイド各種資料、1968-1976

ファイル番号	ファイル名	ファイル年代幅	内容・備考
70	和解関係 他	1971-1974、他不明	雑誌・新聞記事、児童に関する記録あり
73	弁護団文書 レント座談会 サンデー・タイムズサリド記事	1973.9-10、他不明	雑誌・新聞記事
74-75	科学及びマスコミ資料	1968-1971、1974、他不明	雑誌・新聞記事
117	模造紙[和解の提案と条件について]	不明	
115	スライドと録音テープによるサリドマイド児に関する研究授業の感想	1976.3	厚木市立草柳小学校石原裕子学級
129	松村様書簡 マルピー 特許公報の控え	不明	マルピー薬剤販売について
	混在資料		
63	サリドマイド年表	1964-1970	ファイル 63 内にあり
82	協力者・支援者芳名録	1975	ファイル 82 内にあり
153	被害者名簿	1969	ファイル 153 内にあり
165	新聞切り抜き [サリドマイド事件関係者訃報]	1974	ファイル 165 内にあり



シリーズ 6 : 公害・薬害問題一般、1971-2009

ファイル番号	ファイル名	ファイル年代幅	内容・備考
9-37	SSKA クロロキン会報	1992-1995、1997-2004	厚生省交渉議事録収録[第 27-34、38-58 回] (29 ファイル)
38-41、45-55	厚労省交渉	2005-2009	厚生労働省交渉議事録収録[第 59-73 回] (15 ファイル)
69	東大医学原論	1971、他不明	東京大学医療問題研究所資料
80	[薬品、福祉、リハビリ関係雑誌]	1973、1975、他不明	くすりの知識、体の不自由な人びとの福祉、健康に暮すための薬の常識、アビリティーズのリハビリ用品
82	[薬害関係雑誌・機関誌]	1975、他不明	薬じゃぶじゃぶ、薬害共闘、人権新聞、薬害展実行委
86-87	森永ヒソミルク等	1972-1973、他不明	ラルフ・ネーダー、マルピー不買運動関係あり
88-92	[スモン訴訟の確定判決を求める会資料]	1981、他不明	
156	[全国心身障害児福祉財団関係]	1982. 2-8	青少年交流、キャンプなど
153	第一章 総則 [全国心身障害児福祉財団]	1969	

シリーズ 7 : 書籍・雑誌、1964-1976、1997

ファイル番号	ファイル名	ファイル年代幅	内容・備考
1	サリドマイド奇形児に対するリハビリテーション-上肢デズメリーを中心として-	1968	徳島大学医学部整形外科学教室野島元雄
56	大日本製薬六十年史	1957	大日本製薬株式会社
57	サリドマイド裁判 第一編総括	1976	全国サリドマイド訴訟統一原告団、サリドマイド訴訟弁護団
58	サリドマイド裁判 第二編証言一	1976	全国サリドマイド訴訟統一原告団、サリドマイド訴訟弁護団
59	サリドマイド裁判 第三編証言二	1976	全国サリドマイド訴訟統一原告団、サリドマイド訴訟弁護団
60	サリドマイド裁判 第四編証言三	1976	全国サリドマイド訴訟統一原告団、サリドマイド訴訟弁護団
76	中央公論 2月号	1972	
77	季刊中央公論 経営問題春季号	1972	
78	ジュリスト No. 577 サリドマイド事件の和解	1972, 12, 15	
79	月間地域闘争	1972-1974	18・36・37・41号、ロシナンテ社発行

81	CLINIC topics 第8号	1974	
83	サリドマイド被害児の福祉・健康管理に関する研究	1997, 03	いしずえ、東京都社会福祉協議会
84	上肢障害を中心とした先天性障害者の職業適性と職域拡大—サリドマイドを中心として—	1978, 12, 15	身体障害者雇用促進協会
62	医薬品の胎児に及ぼす影響に関する動物試験法の基準についての研究報告書	1964	科学技術庁研究調整局、ファイル62内にあり
	混在資料		
62	医学原論 日本の医療を告発する日—報告と討論—	1964	公開自主講座医学原論実行委員会 東京大学工学部助手会作成、ファイル62内にあり
63	[薬学者機関誌]	1968、1971-1972	若い薬学者の会ニュース No. 70:4-71:1、新薬学研究者技術者集団、ファイル63内にあり
63	[法律扶助協会冊子]	不明	法律扶助20年の歩み、法律扶助の窓—裁判費用を立替えます、ファイル63内にあり
63	有価証券報告書総覧（大日本製薬株式会社）	1970	裁判提出資料、ファイル63内にあり
153	日本醫事新報	1969. 5、8	No. 2351、2363、2366、ファイル153内にあり

シリーズ8：川俣修壽個人活動、1969-1983、1991

ファイル番号	ファイル名	ファイル年代幅	内容・備考
151	[文献一覧表とスクラップ]	不明	記事スクラップ[ソフィアのキリスト（川俣のペンネーム）執筆]、医学文献年代別一覧表
152	[川俣修壽諸活動]	1969-1970、1982、他不明	サリドマイド事件の研究目的など、サリドマイド関係は極少数
154	[登山関係]	1963、1981-1983、他不明	書簡、アスペンクラブ関係、サリドマイド被害支援団体機関紙寄稿原稿の草稿など
155	[その他個人活動]	不明	書籍見積書、「日本全国書誌週刊版」No. 1307 など
157	[その他私物]	不明	サリドマイド問題とは無関係
163	[その他個人活動]	不明	銀行封筒のみ